令和８年度 第２回 岸和田市観光振興計画推進委員会

１　日時　　令和８年 10 月７日（水）午前 10 時 00 分～午後０時

２　場所　　岸和田市役所新館４階　第２委員会室

３　出席者

【学識経験者】石田信博、香月義之

【公共的団体の代表者】阪口寿子、西村令子、太田享之、鍛治義和、木村豊秋

【関係団体の代表者】塩見正成、田邊真、吉本昌史、杉田精教

【市民公募】大嶋桂、溝端裕子

【オブザーバー】藤井健一

【欠席者】佐野楓

【事務局】船橋魅力創造部長、有留観光課長、坂部担当主幹、芝野担当長、甲地主査、薮内担当員、山内担当員、竹平（ブレインファーム)、中竹（ブレインファーム）

【傍聴者】　１名

次第

１　開　会

２　議　事

（１）令和８年度実施事業の進捗について

（２）令和９年度実施事業　意見とりまとめについて

（３）中間検証経過報告について

（４）その他

３　閉　会

配布資料

○次第

○配席図（資料①）

○観光振興計画推進委員会委員名簿（資料②）

○令和８年度実施事業の進捗（資料③）

○令和９年度実施事業　意見聴取シートとりまとめについて（資料③-1）

○観光創造ビジョン・岸和田　中間検証の経過について（資料④）

○令和８年度観光振興計画推進委員会スケジュール（資料⑤）

１　開会

・事務局より挨拶

２　議事

(1) 令和８年度実施事業の進捗について

●事務局
・資料③令和８年度実施事業の進捗について説明。

〈１．プロモーションの強化〉
●委員（Ｆ）
・シート３のツーリズム EXPO について報告。大阪観光局で取りまとめし、一般社団法人岸和田市観光振興協会、関西エアポート株式会社、水都大阪コンソーシアム、大阪城パークマネジメント株式会社、堺観光コンベンション協会、また協賛として大阪羽曳野観光局、大阪国税局と一緒に北大阪ブースとして出展。トータルで 18 万人の来場があり、過去最高だったと聞いた。昨年に比べて、非常に活発な商談がなされたと報告を受けており、来場者アンケートやスタンプラリー、抽選会なども、いずれも来場者数は前年を上回るかたちで無事催行された。

〈２．観光コンテンツの充実〉
●委員（G）
・手ぶら観光を推進する中で、JAL が岸和田のエリアをその題材に取り上げて商品造成をされると聞き、非常にいい動きだと考える。こういう機会を通して、自分たちがみずからやるということだけではなくて事業者自らプロモーションをしていくという動きを大事にしていきたい。JAL の現状の動きを教えていただきたい。

●委員（Ａ）
・伝統工芸に焦点をあて、岸和田では、北海鉄工所の技術を生かしたビールで、ツアー造成に取り組んでいる。ＪＡＬの機内誌で関係するコンテンツを紹介し、かなりの宣伝効果が見込まれる。11 月中には視察ツアーをして、販売促進に役立ててもらう予定。

●委員（Ｆ）
・手ぶら観光サイトを運営している。泉州地域の課題解決として、手ぶら観光のサイト QR

コードを JAL の機内誌に載せ、観光にきていただく仕組みづくりを検討している。

●事務局
・今後も引き続き、各団体様はもちろん、皆様のネットワーク、人との繋がりを大切に事業に取り組んでまいりたい。

●委員（Ｊ）
・だんじり小屋巡りツアーが、岸和田市内または市外のどこからの来客が多かったのか。

●事務局
・初年度は市内の参加者が多い傾向ではあったが、プロモーションを市外にも行なっていった結果、徐々に市外の割合が増えてきている。今年度については、市外の割合が多くなっている。

●委員（Ｊ）
・告知はどのようにされているか教えてほしい。

●事務局
・基本的に本市で開催のイベントについては、市のホームページ、広報誌、X、フェイスブック、インスタグラム、そよら東岸和田のサイネージや LINE で情報発信している。市外への情報発信としては、事業者様を通して、情報発信に取り組んでいる。

●委員（A）
・補足で、岸和田のアパホテルにてタイアップ宿泊プランにご協力いただいた。

●委員（Ｊ）
・参加者の方は日本人か。

●委員（A）
・そうである。

〈３．受入体制の整備・充実〉
●委員長
・意見はあるか。

（意見なし）

（２）令和９年度実施事業　意見とりまとめについて

●事務局

・資料③-１令和９年度実施事業　意見とりまとめについて説明。

〈１．プロモーションの強化〉

●委員（Ｉ）

・観光客への情報発信という意味でも、もし機会があれば海外向けインフルエンサーの活用をご検討いただきたい。

●委員（Ａ）

・KIX 泉州ツーリズムビューローにて、インフルエンサーの方々を呼び、泉州各地を取材し、ＳＮＳ発信を積極的に取り組んでいる。今後より積極的にそういった機会を増やせるよう取り組む。

●委員（Ｈ）

・岸和田市には有名な観光資源がたくさんある。先日も JR 協賛の旅番組で岸和田市が取り上げられており、取り上げられたところは集客につながる。引き続き継続してプロモーションしていただきたい。また、インバウンドの方向けに、綺麗なものやキラキラしたものなどは刺さると思うので、そういうのを取り上げて集中的にインフルエンサーなどに協力いただき、発信してみてはどうか。

●委員（Ｅ）

・情報発信も大切だが、情報の中身も魅力あるものにするべきである。岸和田城のホームページで検索すると、情報がバラバラである。例えば 1 つの核となるポータルサイトを設けてそこにアクセスすれば、すべて出てくるような工夫が必要ではないか。いくつものサイトを見ないと全体がわからないという状況になっている。ホームページを地道に改善し、魅力を伝えていただきたい。

●事務局

・ホームページの情報発信については今後の参考にする。

●委員（Ｂ）

・だんじり祭の際、外国人向けインフォメーションセンターを開設した中で、どうしてここを知ったのかっていうところのアンケートを取ったところ、インターネットと回答した人が一番多く、その中にチャット GPT に聞いたら教えてくれたという人がいた。AI が

外国人向けインフォメーションというところを知っていることに驚いた。そのため、どれだけの情報をホームページへ掲載するかによって、AI が察知するため、情報発信が大切と考える。

●事務局
・大事な視点であるため、正確な情報発信に取り組んでいきたい。また、来年度の指定管理者変更に伴い岸和田城やだんじり会館などの専用サイトを作成するように検討している。

●委員（E）
・サイト作成の際は、関連する方々で協力して取り組んでいただきたい。

〈2．観光コンテンツの充実〉
●委員（J）
・コンテンツの充実について、例えば市民や事業者からツアー内容を提案するような、市民目線でなにかできると面白いのではないか。業者や市民も一体となって観光に参加できるような感覚があってもよいのではないか。

●事務局
・観光に興味をもっている事業者や市民の方々がいるので、受け入れ側目線でのツアーの提案についても検討する。

〈3．受入体制の整備・充実〉
●委員（J）
・ＳＮＳの発信等について、お店や事業者が新しくお店を作り継続していくうえで、骨子がわからない。どのように発信に取り組んだらいいかがわからないという声をよく聞く。教育の場を市の方で作っていただきたい。例えば、同じハッシュタグをつけて観光推進することで、同じ方向に向かって取り組んでいけるのではないか。

●事務局
・今後の参考にする。

●委員（K）
・岸和田市にはエネルギッシュな方も多く、岸和田市出身の著名な方もたくさんいるので、そういう方と協力をしてプロモーション強化できないか。面白いコンテンツがあると、一目瞭然でこの町はエネルギッシュで行ってみたいなという感情に繋がるのではないか。

●委員長

・委員会の性質上ソフト面に関することが多い。例えば、駅から岸和田城に向かう動線の中で岸和田らしいと感じることができるような、道路整備についても合わせて考えていきたい。ハード面は時間も費用もかかるが、合わせて考えていくことも大事だと考える。また、山手は駐車場が問題ではないか。駐車場の整備なども検討いただきたい。ソフト面の今までの政策に合わせて、ハード面もこれから少しずつ考えていただきたい。

●事務局

・ハード整備については、すぐにはなかなか難しい問題である。ただ、観光振興を進めていくうえで必要な部分になると考える。その観点を大切にしたうえで、検討していく。

●委員（E）

・岸和田市の規模になると、郷土資料館、博物館や美術館のような施設が必要でないかと感じる。岸和田城リニューアルプロジェクトの現状を紹介いただきたい。

●事務局

・まず、岸和田城天守閣耐震対策基本計画がつくられた。その中で壁補強を計画に位置付けており、多聞櫓、隅櫓、観光交流センターの方へ天守閣の展示機能を移すということで計画準備している。その後天守閣の工事を予定している。また、リニューアル後、天守閣をどのような内容で活用していくかは、基本計画の中で岸和田城や岸和田市の歴史を展示することとしているため、その方向で進める予定である。また、今後専門家の意見や委員会の中で議論した上で、デジタル化等の見せ方について整理して進めていけたらと考える。

（3）中間検証経過報告について

●事務局

・中間検証の経過について報告。

●委員（E）

・どのくらいの頻度で調査しているのか。

●事務局

・それぞれの調査方法について資料④P１の通り。期間については、非来訪者 WEB アンケート調査はモニター調査にて数日間、観光動向アンケート調査は１ヶ月程度、宿泊事業者アンケート調査は３週間程度、観光施設等口コミ調査は約１ヶ月程度実施した。

●委員（E）
・休日や平日などランダムに調査しているか。

●事務局
・留置きで QR コードの紙を設置し、また回答数向上とかいうところで、現地でお声がけをして調査をした。また、この計画を策定したときに、実際アンケートを取ったタイミングが 8 月 9 月であったというところから、今回の中間計上するタイミングも 8 月、9 月の同じタイミングで調査した。

●委員（F）
・２ページ目の満足度については、どういう満足度を表しているのか。

●事務局
・全体の満足度及び各コンテンツの個別にデータも取っている。

●副委員長
・細かなデータの送付の際は、設問項目も合わせて送ってほしい。

●委員長
・令和 5 年と比較して、満足度が 51%から 90.4%になっているがアンケートの取り方が違う。

●事務局
・前提の違いはあるが、実際に調査結果を示すときには丁寧な説明のうえ公表する。

●委員（J）
・年代は聞いているか。

●事務局
・年代についてもアンケート項目に入れている。

●委員長
・その他に意見はあるか

（意見なし）

（4）その他

●事務局
・資料⑤の説明。

●委員長
・意見はあるか。

（意見なし）

3．閉会

●委員長
・本日の推進委員会を閉会する。